



## 女性会議は困難な時こそ集まって 楽しいことを共有して 南大塚アフタヌーンティー2.15



コミュニティユニオン東京副委員長の伊東弘子さんから、去年10月17日にスイス・ジュネーブで開催された国連女性差別撤廃委員会（CEDAW）のロビー活動や傍聴の様子を、映像を観ながら報告を受けました。

各国の委員の姿を見つけると、かけよっていった、次々とアピールする様子や伊東さんが英語で訴える時「何か」が降りてきて、スラスラと話すことができたというエピソードなど、私たちも、その場に参加している気分になってくれました。

その後、参加者10名

のホンネトークで盛り上がった様子を「ポエム」風にしてお知らせします。

（江戸川支部 新木輝代）

女性差別は生れた時からあったのね  
「はて？」「あれ？」と胸の奥にずっとくすぶっていたのに  
男女雇用機会均等法の下での職場でずっと賃金差別を受けていたけど  
「世の中はこういうもの」と流されていた（モヤモヤ）  
結婚して「姓」を変えるのも私だった  
共働きなのに家事、子育ては私のしごと（モヤモヤ）  
モラハラ亭主も外では「理解のあるいいご主人」を演じて  
私の「モヤモヤ」は続いている  
でもね「雇用止め」の闘い中で労働組合と出会い  
たくさんの人とつながり、明日につながる人生を知って  
自分が自分として生きられると感じたよ  
だからモヤモヤを抱えている人たちと「はて？」「あれ？」を  
一つ一つ変えていこうね

## 《活動報告》

### 朝日生命の障がい者雇用の雇 止め事件勝利報告会 三多摩地本



今回の労働審判で事実を明らかにし、  
公正な結果を得ることができました

#### Nさんの発言

この度は、私の状況に寄り添い、最後まで力を尽くしてくださり、本当にありがとうございました。今回の労働審判では、会社側の主張に嘘や矛盾が含まれており、非常に苦しい状況もありましたが、みなさまの冷静で的確なサポートのおかげで、事実を明らかにし、公正な結果を得ることができました。

#### 朝日生命が積極的に障害者雇用の改善に取り組むことを願う

今回の件では、会社側が障害者雇用に関する法的義務や社会的責任について、十分に理解していなかったことが大きな要因だったと感じています。しかし、現代の労働環境では、古い知識や従来の考え方を持ち続けるだけでは、企業の信頼や持続可能性を維持することは難しいでしょう。

障害者が安心して働ける環境を整えることは、企業の成長や社会的評価の向上にもつながると信じています。

もし会社が今回の結果を受けて再発防止策を講じない場合、同じような問題が繰り返される恐れがあります。その際には、私自身が事実を公表し、世間に訴えていくことも検討せざるを得ません。そうした事態を避けるためにも、今回を機に、企業全体で理解を深め、

積極的に改善に取り組んでいただけることを強く願っております。

この経験を糧に前向きに歩いていく決意です。私自身、この経験を糧に、前向きに歩いていく決意です。そして、障害者雇用がさらに良い方向に進むよう、これからも努力してまいります。本当にありがとうございました

### 新春のつどい 雪に降られず、 おいしい弁当と電子ピアノで歌う CU品川



東京に雪が降ると予報が出ていた2月2日（日）13時半から、品川区中小企業センターで「新春のつどい」を開催しました。予報に反し心配していた雪は降らず雨になり、27人が参加してくれました。

開会しようとしたら、参加予定の協力組合員白石都議が日本共産党の小池晃参議院議員を連れてきた。なぜ寄ってくれたのですかと聞いたら、「一人でも入れるCUがつどいをやっているの、通りすぎるわけにはいかない」と。池野委員長の挨拶の後、お二人に挨拶をしていただき、執行委員が買い出した弁当やおいしいツマミが並ぶなか懇親会に移り、自己紹介では、組合員の非正規職場の大変な状況や68歳の時（女性）、「会計年度職員に挑戦して合格した」労働条件が良いので頑張る話など出ました。

その後、組合員の電子ピアノの演奏で歌を5曲みんなで歌い、最後は、全員にあたる恒例の抽選会を行い、1等は「お湯の入るミニ湯たんぽ」が参加者の最高齢に当たり、喜んでいました。締めは委員長の組合員を増やす話と、「団結頑張ろう」で終わりました。

## 未組織の組織化に 力を入れたい 東京地評評議員会 (1月26日) 白滝書記長発言



朝日生命の事件では、当人が社内の組合に相談したが相手にしてもらえなかった。いろいろ迷ってようやくコミュニティユニオン東京にたどり着いたもの。困ったことに寄り添い闘う組合の存在が身近にあるかどうかには大きな意味がある。その意味でも個人加盟の地域労組は重要。11月に首都圏における地域労組の学習交流会を初めて開いて成功した。広域での協力と連帯の体制をつくり、未組織の組織化に力を入れたい。

## ご紹介 (事務局勤務)

### CU東京渋谷支部の 組合員・執行委員の丹野典子です。

この度、2週間程の準備・見習い期間を経て、

2025年1月から、CU東京本部の事務の一部を引継ぐことになりました。

私は医療の仕事に長く就いていまして、現在も週の数日(1~2日)の勤務を続けています。事務の経験はほとんど無く、まだまだ不慣れですが、皆さんのおちからを借りながら務めていきたいと思っています。

色々、不安な点もありますが暖かく見守っていただけますと、助かります。

よろしく申し上げます。



## 「CU東京 15年」

### 第4回 伊藤悦子 (練馬)

1990年台初頭に生じたバブル経済の崩壊以後、企業倒産、リストラが進む中、失業率は、5、5%で、自殺者が3万人に達し、大きな社会問題となっていました。

地域では、中小零細企業の合理化で、正社員、パートに関係なく労働条件の変更、退職強要など労基法違反が横行、こうした情勢の中、練馬労連有志が協力組合員となり、2001年9月に地域労組「だいこん」が結成されました。

当時は手探りの状況で、執行委員体制も確立しないまま推移していたのが現状でした。一方、東京地評でも「非正規労働者の受け皿組織」の結成に向けての議論、検討の末、2008年に賛同、支援する16組織で準備会が結成される事となり、練馬からも参加。2009年、結成を機に「地域労組だいこん」を解散して、新生「コミュニティユニオン東京」に加盟する事となりました。大変だった組合費の徴収が解消され、何の恩恵も無かった協力組合員にも、各種共済保険が適用されたことは、嬉しい事でした。また、初代執行委員長に東京土建を代表して、練馬支部から市瀬正樹氏が選任された事も大変名誉な事で、これからも、初代委員長の名に恥じないよう、日々拡大！に努めて行きます。



## 「CU東京 15年」

## 第5回 高木典男 (前書記長)

憲法に立脚する労働組合・CU東京

「9条プレート」を年初めから貼りだした。足立の仲間が「9条で世界に平和を」とプロジェクトを立ち上げ運動している。わが家もかみさんの発案で購入、路地から発信始めた。これが意外と見られている。立ち止まり読む人も。グリーンの基調でスマートだ。遅れて出した年賀状にも写真を載せた。数ヶ所でその「プレート」を紹介することがあった。



CU東京の結成に尽力した故・平山和雄さんを思い出した。日本国憲法こそCU東京の立脚点と強調していた。二七条、二八条。組合の文書に、ポスターに、リーフに。憲法に基づく労働組合、労働運動とアピールした。それで学習会でもアイデンティティとして話をした。この憲法に保障されている組織、労働者の団結権。憲法に謳われたこの話は、古い活動家にも労働組合が新鮮に、労働組合を知らなかった人には驚きを持って届いたようだ。労働組合・CU東京を伝える力になった。貼りだすことでは、労働会館の横から入る一階の事務所の時、窓ガラスに2枚貼っていた。目隠しの意味もあるが、結構見ていく人も、声をかけられることもあった。

それで話は家の路地に戻るが、もう1枚貼っている。第37回多喜二祭。ご存じ小林多喜二をつたえる取り組み。労働者の権利はおろか、国民の権利もない無権利な戦前の社会、治安維持法の暴圧の中、人間の尊厳、働くものを擁護し、小説を書き、活動した。そんな活動があり、日本国憲法がつくられた。その憲法に則ってCU東京は活動している。多喜二を身近に感じる。今、働く者の権利がさらに壊されようとしている。CU東京15周年。あらためて地域から憲法に光をあて、憲法に保障された権利を行使して活動するCU東京の役割は大きい。ブラシュアップ。磨きをかけて発信するときだと思う。

## 東京都多摩動物公園

### 絶滅に瀕している野生動物たち

次回交流会は多摩動物公園です。お子さん、

### 女性会議主催

# 4月13日(日)

## 東京都多摩動物公園で交流会

### 入園料は組合で出します

### お弁当は各自持参してください

### 参加希望の方は支部を通して

### ご連絡ください

家族連れでいらっしゃいませんか？

当日はガイドさんをお願いして絶滅危惧など詳しく



説明をしてもらえます。今気候危機の中、動物たちがどのように生きているか、どのようになっているのか皆さんと一緒に考えられたらと思います。どうぞたくさんの方ご参加ください。

多摩動物公園でたくさんの動物がお待ちしています。絶滅に瀕している野生動物たち、どんな生活をしているのでしょうか。ガイドブックを見ながら、皆さんとご一緒に参りましょう。